

# 2014年度 研究センター事業報告書

研究センター名	立命館サステイナビリティ学研究センター
研究センター長名	中島 淳

## I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究センター5か年計画に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうことができるだけわかりやすく記述してください。

### 1. 外部資金による研究活動

- (1) 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業: ①事業元: 文部科学省 ②研究代表者: 理工学部・教授・近本智行 ③研究課題: 「水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点形成」 ④研究費用: 32,200,000 円、設備費: 10,687,680 円
- (2) 受託研究(環境省): ①委託元: 環境省 ②研究代表者: 政策科学部・教授・仲上健一 ③研究課題: 「平成26年度環境研究総合推進費(持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理方法の開発)」 ④研究費用: 10,498,000 円
- (3) 受託研究(三菱総合研究所): ①委託元: 株式会社三菱総合研究所 ②研究代表者: 理工学部・教授・橋本征二 ③研究課題: 「木製治山ダムのLCA分析業務」 ④研究費用: 1,188,000 円
- (4) 受託研究(フィンレーズ): ①委託元: Finlays Tea Estates Lanka (Pvt) Ltd. ②研究代表者: 政策科学部・特命教授・モンテ・カセム ③研究課題: 「気候変動におけるスリランカのプランテーション農業の適応策」 ④研究費用: 1,178,862 円

### 2. 学内資金による研究活動

- (1) 資金名: 立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)/拠点形成支援型 R-GIRO 研究プログラム ①研究代表者: 理工学部・教授・中島淳 ②研究課題: 「水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点」 ③研究費用: 19,758,000 円
- (2) 資金名: 科研費連動型 ①研究代表者: 政策科学部・教授・小杉隆信 ②研究課題: 「技術利用の継続性に関するリスクを踏まえた気候変動の経済分析」 ③研究費用: 500,000 円

### 3. プロGRESSレポート会議の開催 2014年7月2日(水) BKCトリシア I 5階、都市・環境システム演習室2

3キャンパスにまたがる研究者の連携を促進し、先端研究の情報共有の目的のために開催。

近本 智行「環境配慮技術のショールーム・実験の場、環境教育実践の場としてのトリシア」、中島 淳「アジアにおける水再生循環のデザイン」、周 瑋生「東アジア循環経済圏の構築を目指して一日中韓循環経済モデル基地のトップデザイン」、吉岡 泰亮「持続可能な沿岸海域実現を目指した管理手法の実現-生態系サービスの経済評価」、朱 可為「中国市場における日本水処理膜メーカーの展開戦略に関する研究」、王 斯蒙「Sustainable Water Resources Management of the Nile River - Scenario of Water Future in Egypt」、伊藤 新「資源生産性の国際比較」

### 4. RCSフォーラムの開催 2014年10月20日(月) 於: 以学館2号ホール(立命館大学衣笠キャンパス)

『日中韓の戦略的互恵関係とサステイナビリティ』と題し、小原雅博在上海日本国総領事を迎え、日中韓三国関係に関する討論を行った。第1部/在上海日本国総領事・小原雅博氏による基調講演「チャイナ・ジレンマと境界国家日本の選択」。第2部/坂本和一・立命館大学名誉教授をコーディネーターに、文京洙・国際関係学部教授、周瑋生・政策科学部教授、勝村誠・政策科学部教授と小原雅博総領事でのパネルディスカッションを実施。

### 5. 12th Asia Pacific Conference (APU) 2014年11月1日(土)~3日(月) 於: 立命館アジア太平洋大学

RCSから、「R-GIRO 水拠点」、「グリーンビル」、「里海の生態系サービスの経済評価」、「テラグリーンネットワーク」の4つの主要研究グループの研究者らが報告を行った。RCSのセッションが最も参加人数を集めた。

### 6. 『水とグリーンビル研究会』キックオフシンポジウムの開催 2015年2月18日(水) 於: BKCトリシア I 1F 環境都市系演習室1

2014年11月に発足したコンソーシアム「水とグリーンビル研究会」のキックオフイベントとして、企業関係者を招いて開催。企業からは40名の参加があった。

中島 淳「水再生技術 WG: 水再生技術と循環システム研究の推進」、近本 智行「グリーンビル WG: グリーンビル新技術に関する研究の推進」、仲上 健一「水ビジネスWG: 水インフラビジネスのアジア展開のための研究推進」、小林 陽一「トリシアにおける環境配慮設備実験について」、松下 直幹「トリシアにおけるエネルギー消費の計測について」、中川 隆一「底質活性化事業プロジェクトについて」、杉森 公英「難分解性物質研究会の活動について」

### 7. エコプロダクツ展への出展 2014年12月11日~13日 於: 東京ビックサイト

RCSの研究発信を目的とし、理工学部新棟(トリシア)における環境に配慮した設備等の解説、実験で得られた成果などをポスターで発表した。

## II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2015年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位
センター長	中島 淳	理工学部	教授
幹事会	仲上 健一	政策科学部	特別任用教授
	周 瑋生	政策科学部	教授
	小幡 範雄	政策科学部	教授
	モンテ・カセム	立命館大学	特命教授
	近本 智行	理工学部	教授
	橋本 征二	理工学部	教授
	酒井 達雄	理工学部	特別任用教授
	赤堀 次郎	理工学部	教授
	竹濱 朝美	産業社会学部	教授
	山神 進	立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	教授
	有井 健	立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	教授
	銭 学鵬	立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	准教授
	学内教員 (専任教員、研究系教員等)	高尾 克樹	政策科学部
小杉 隆信		政策科学部	教授
建山 和由		理工学部	教授
天野 耕二		理工学部	教授
吉原 福全		理工学部	教授
神子 直之		理工学部	教授
今田 真		理工学部	教授
武田 史朗		理工学部	准教授
佐藤 圭輔		理工学部	講師
石森 洋行		理工学部	講師
吉川 直樹		理工学部	特任助教
寺脇 拓		経済学部	教授
島田 幸司		経済学部	教授
薬師寺 公夫		法務研究科	教授
Francisco FELLIZAR Jr.		立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	教授 (APU 副学長)
Malcolm COOPER		立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	特別任用教授
Peter M. HECK		立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	教授
高倉 秀行		理工学部	教授
松原 豊彦		経済学部	教授
峯元 高志		理工学部	准教授
武田 富美子		生命科学部	准教授
村山 皓		政策科学部	特別任用教授
上原 拓郎		政策科学部	准教授
太田 貴大	政策科学部	助教	

学内の若手研究者	専門研究員・研究員	李明香	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員
		清水 聡行	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員
		陳 曉晨	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員
		劉 念麟	総合科学技術研究機構	専門研究員
		リー リボ	総合科学技術研究機構	専門研究員
		ゾン ジェ	総合科学技術研究機構	専門研究員
		ソン シャオミン	総合科学技術研究機構	専門研究員
		パトリック アンダーソン	総合科学技術研究機構	専門研究員
		結城 郷	総合科学技術研究機構	専門研究員
		WANG Tao	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員
	補助研究員・リサーチアシスタント	吉岡 泰亮	衣笠総合研究機構	補助研究員
		牛 佳	衣笠総合研究機構	補助研究員
		Cherry Myo LWIN	総合科学技術研究機構	補助研究員
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
	博士後期課程院生・一貫制博士課程 3 回生以上在籍院生	吉川 和宏	理工学研究科	D3
		清水 信孝	理工学研究科	D2
		Md. Mahmudur Rahman	理工学研究科	D3
		伊藤 新	理工学研究科	M2
		王 斯蒙	政策科学研究科	M2
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)				
客員協力研究員	朴 廷桓	韓国建国大学	講師	
	大野木 昇司	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	芳賀 普隆	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	田中 善紀	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	脇澤 學	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	山田 幸一郎	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	保田 祐子	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	Jason Daniel Wolfe	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	下村 耕治	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	神崎 護	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	村主 勝彦	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	仲村 匡司	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	美濃羽 靖	衣笠総合研究機構	客員研究員	
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	佐和 隆光 (RCS 顧問)	滋賀大学	学長	
	Sebastien DENTE		JSPS 外国人特別研究員	
研究所・センター構成員 計 70 名 (うち学内の若手研究者 計 19 名)				

### Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2015年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	仲上 健一	メコン地域開発とASEAN共同体-域内格差の是正を目指して-、「メコン川流域開発とヴェトナムにおける環境保全」	共著	2014年6月	晃洋書房	西口清勝・西澤信善編、濱崎宏則	196-214
2	仲上 健一 周 瑋生 銭 学鹏 中島 淳	Strategic Adaptation towards Water Crisis and IWRM*	共編著	2014年8月	The University Press Limited	Mr. G. A. Choudhury, Prof. Dr. LI Jianhua Prof. Dr. FUKUSHI Kensuke	3-14, 57-71, 73-82

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	中島 淳	Operational Factors in Membrane Bioreactors Using Simple Ceramic Filter	共著	2014年	J. Water and Environment Technology(12巻1号)	Md. Mahmudul Hasan	65-75	有
2	周 瑋生 仲上 健一	Energieexergy analysis and optimization of the solar-boosted Kalina cycle system 11 (KCS-11)	共著	2014年6月	Renewable Energy(66号)	Faming Sun a, b, Yasuyuki Ikegami d, Xuanming Su	268-279	有
3	仲上 健一	水インフラビジネスのアジア展開の可能性	単著	2014年9月	世界経済評論(58巻5号)		47-51	有
4	周 瑋生 銭 学鹏 仲上 健一	東アジア原子力安全保障システムの構築-その1 世界における原子力発電所(原発)事故事象の統計分析-	共著	2014年10月	政策科学(22巻01号)	許士超、伊庭野健造、	1-10	無
5	周 瑋生 仲上 健一	日本における食品安全の確保に関する制度的研究-法令と行政の体制に着目して-	共著	2014年10月	政策科学(22巻01号)	王陽鳳、蔡建国、	23-37	無
6	中島 淳 近本 智行 仲上 健一	大学キャンパスにおける雨水・再生水利用の現状と考察	共著	2015年2月	用水と廃水(57巻02号)	清水聡行	48-57	有
7	仲上 健一 中島 淳	中国市場における日本水処理膜メーカーの事業展開戦略	共著	2015年2月	政策科学(22巻2号)	陳曉晨・朱可為・牛佳・中島淳	1-10	無
8	仲上 健一	Sustainable Water Resources Management of the Nile River, Egypt	共著	2015年2月	政策科学(22巻2号)	王斯蒙・陳曉晨	11-20	無
9	仲上 健一 銭 学鹏 中島 淳	Achieving sustainable Development of Chongming Island, China	共著	2015年3月	Journal of Policy Science(9巻)	Toshiyuki Shimizu, Jianhua Li, Ji Han, Jia Niu,	125-136	無
10	銭 学鹏 周 瑋生 仲上 健一	International Environmental Cooperation between Japan and China toward East Asian Sustainable Development	共著	2015年3月	Journal of Policy Science(9巻)		81-95	無
11	周 瑋生 仲上 健一	Potential Analysis of Hot Spring Power Generation with Kalina Cycle Technology	共著	2015年3月	Journal of Policy Science(9巻)	SUN Faming, JIA Baoju, SU Xuanming	113-123	無

12	周 璋生 銭 学鵬	Study on the Introduction of CO2 Emissions Trading System for Realizing East Asian Low-Carbon Community	共著	2014 年	Journal of Policy Science(8 卷)	Xuanming Su		無
13	橋本 征二	温室効果ガスインベントリにおける廃棄物燃焼起源排出量の報告オプション～一般廃棄物発電を対象として～	共著	2014 年 10 月	環境システム計測制御学会誌、Vol. 19、No. 2/3	川西 博貴	53-60	有
14	橋本 征二	資源生産性指標の日豪中比較～財・サービスの資源利用強度と最終需要構造が国の資源生産性に与える影響～	共著	2014 年 10 月	土木学会論文集 G (環境)、Vol. 70、No. 6	伊藤 新	pp. II_257-II_265	有
15	橋本 征二	Exploring China's materialization process with economic transition: Analysis of raw material consumption and its socioeconomic drivers	共著	2014 年 5 月	Environmental Science and Technology, Vol. 48, No. 9	Wang, H., X. Tian, H. Tanikawa, M. Chang, Y. Moriguchi, and Z. Lu	pp. 5025-5032	有
16	近本 智行	ESCO 事業の長期性能検証 第 1 報—ESCO 事業の省エネ改修手法のコストパフォーマンスと安定性	共著	2015 年	空気調和・衛生工学会論文集 No. 214	田邊陽一	pp. 33-42	有
17	中島 淳	海外におけるヒ素汚染の実態と飲料水対策	単著	2014 年	水環境学会誌 Vol. 37 (A)		pp. 401-404	無
18	近本 智行	通気層とアルミ反射材の複合工法による熱負荷低減効果の検証 (その 4) 通気層内熱特性と相当熱貫流による評価	共著	2014 年	日本建築学会大会学術講演梗概集、環境工学 II	原田和幸、酒向真考	pp. 57-58	無
19	近本 智行	地中熱、太陽熱を直接利用する躯体スラブ蓄熱放射冷暖房システムに関する研究 その 1 研究及びシステムの概要	共著	2014 年	日本建築学会大会学術講演梗概集、環境工学 II	関根賢太郎、小林陽一、太田涼平	pp. 609-610	無
20	近本 智行	地中熱、太陽熱を直接利用する躯体スラブ蓄熱放射冷暖房システムに関する研究 その 2 スラブ試験体実験によるスラブ内伝熱の検証	共著	2014 年	日本建築学会大会学術講演梗概集、環境工学 II	鳥羽大樹、関根賢太郎、小林陽一、宮城令	pp. 611-612	無
21	近本 智行	地中熱、太陽熱を直接利用する躯体スラブ蓄熱放射冷暖房システムに関する研究 その 3 スラブ内部の温度分布と空調負荷削減効果の算出	共著	2014 年	日本建築学会大会学術講演梗概集、環境工学 II	宮城令、関根賢太郎、小林陽一、鳥羽大樹	pp. 613-614	無
22	近本 智行	地中熱、太陽熱を直接利用する躯体スラブ蓄熱放射冷暖房システムに関する研究 その 4 導入技術と施工方法の検証	共著	2014 年	日本建築学会大会学術講演梗概集、環境工学 II	関根賢太郎、小林陽一、山田雅人	pp. 615-616	無
23	近本 智行	別分散型エアコンを用いたパーソナル空調の検討 (その 5) 実吹出口を用いた吹出気流の精度検証	共著	2014 年	日本建築学会大会学術講演梗概集、環境工学 II	岡本茂、小崎麻莉菜、太田涼平、古賀修、熊田瑠子、横川彩香	pp. 1421-1422	無
24	近本 智行	個別分散型エアコンを用いたパーソナル空調の検討 (その 6) 実空間を対象とした夏期及び冬期の温熱環境解析	共著	2014 年	日本建築学会大会学術講演梗概集、環境工学 II	小崎麻莉菜、太田涼平、古賀修、熊田瑠子、岡本茂、横川彩香	pp. 1423-1424	無

25	近本 智行	通気層とアルミ反射材の複合工法による熱負荷低減効果の検証(その5) 夏期温熱環境調査及び通気層内熱特性の分析	共著	2014年	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集	原田和幸	pp. 193-196	無
26	近本 智行	個別分散型エアコンを用いたパーソナル空調の検討(その7) 指向性・拡散性切替可能な実吹出口の検証及び実空間を対象としたCFD	共著	2014年	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集, 第3巻	小崎麻莉菜, 太田涼平, 古賀修, 熊田瑤子, 岡本茂, 横川彩香	pp. 105-108	無
27	近本 智行	地中熱、太陽熱を直接利用する躯体スラブ蓄熱放射冷暖房システムに関する研究(その5) 研究及びシステムの概要	共著	2014年	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集, 第3巻	宮城令, 関根賢太郎, 小林陽一・鳥羽大樹	pp. 297-300	無
28	近本 智行	地中熱、太陽熱を直接利用する躯体スラブ蓄熱放射冷暖房システムに関する研究(その6) スラブ試験体実験によるスラブ内伝熱の検証	共著	2014年	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集, 第3巻	鳥羽大樹, 関根賢太郎, 小林陽一, 宮城令	pp. 301-304	無
29	近本 智行	地中熱、太陽熱を直接利用する躯体スラブ蓄熱放射冷暖房システムに関する研究(その7) 設計用シミュレーションソフトの開発	共著	2014年	空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集, 第3巻	小林陽一, 関根賢太郎, 張璐	pp. 305-308	無
30	酒井 達雄	Reconfirmation and New Discussions on Frequency Effect of Fatigue Property of Metallic Materials Based on Numerous Published Data	共著	2014年4月	International Journal of Materials and Structural Integrity, Vol.8, No.4	Benjamin GUENNEC, Yuki NAKAMURA, Akira UENO, Isamu NONAKA	221-242	有
31	酒井 達雄	Evaluation of Gigacycle Fatigue Limit and Life of High-Strength Steel with Interior Inclusion-induced Failure	共著	2014年7月	International Journal of Damage Mechanics, Vol.23, No.7	Wei LI, Ping WANG, Lian-Tao LU	931-948	有
32	酒井 達雄	Effect of the Loading Frequency on Fatigue Properties of JIS S15C Low Carbon Steel and Some Discussions based on Micro-plasticity Behavior	共著	2014年9月	International Journal of Fatigue, Vol.66,	Benjamin GUENNEC, Akira UENO, Masahiro TAKANASHI, Yu ITABASHI	29-38	有
33	酒井 達雄	Evaluation of Crack Growth Behavior and Probabilistic S-N Characteristics of Carburized Cr-Mn-Si Steel with Multiple Failure Modes	共著	2014年12月	Materials and Design, Vol.64	Wei LI, Zhenduo SUN, Zhenyu ZHANG, Hailong DENG	760-768	有
34	酒井 達雄	Period of Fine Granular Area Formation of Bearing Steel in Very High Cycle Fatigue Regime”, Advanced Materials Research	共著	2014年	Advanced Materials Research	Noriyasu OGUMA, Naoya SEKISUGI, Yasuhiro ODAKE	434-439	有

35	酒井 達雄	Dislocation-based Interpretation on the Effect of the Loading Frequency on the Fatigue Properties of JIS S15C Low Carbon Steel	共著	2015年1月	International Journal of Fatigue, Vol. 70	Benjamin GUENNEC, Akira UENO, Masahiro TAKANASHI, Yu ITABASHI, Mie OTA	328-341	有
36	酒井 達雄	Influence of Case Carburizing and Micro-defect on Competing Failure Behaviors of Ni-Cr-W Steel under Gigacycle Fatigue	共著	2015年3月	International Journal of Fatigue, Vol. 72	Wei LI, Zhenduo SUN, Zhenyu ZHANG, Hailong DENG	66-74	有
37	酒井 達雄	Generation and hybrid use of natural clean energies to realize the low carbon society	共著	2015年3月	Journal of Policy Science, (9巻)	Shuya YOSHIKA, Yosifumi OGAM, Benning LIAN, Yohei KAWAI, Hirohisa KAWAKITA	3 - 23	無

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	仲上 健一	A framework for formulating a long-term coastal management plan for a sustainable coastal area: An application of "Sato-umi" in Japan.	2014年8月	International Society for Ecological Economics, Iceland 2014	Takahiro Ota, Takuro Uehara
2	仲上 健一	Green Sports towards the Low-carbon Society	2014年8月	2014 Incheon Asian Games International Sport Science Congress- In commemoration of the 1988 Seoul Olympic Games	Dr. Xiaochen CHEN, Dr. Jia NIU, Researcher
3	仲上 健一	A coastal zone assessment method for the realization of sustainable ICZM using the "Sato-umi"	2014年9月	Ecosystem Services Partnership, Fundacion Neotropica in collaboration with CATIE, Universidad Nacional and IUCN-CEM Meso-America	Takahiro Ota, Takuro Uehara
4	仲上 健一	Why fishermen cannot get income from both the catch and ES management: A Japanese case of PES in the coastal area	2014年9月	Ecosystem Services Partnership, Fundacion Neotropica in collaboration with CATIE	Takahiro Ota, Takuro Uehara
5	仲上 健一	Exploring potential factors affecting the long-term change in the monetary value of coastal ecosystem services: A case in Japanese coastal areas.	2014年9月	Ecosystem Services Partnership, Costa Ric, 2014	Takahiro Ota, Takuro Uehara
6	仲上 健一 小幡 範雄	「里海」を基本概念とした統合的沿岸管理（その1）	2014年9月	環境経済・政策学会 2014年大会	高尾克樹・太田貴大・上原拓郎・吉岡泰亮・陳曉晨
7	銭 学鵬 周 瑋生 仲上 健一	中国地方都市における経済発展と幸福度の相関関係に関する研究 —龍泉市の幸福度調査を通じて	2014年9月	環境経済・政策学会 2014年大会	林祥偉
8	周 瑋生 銭 学鵬 仲上 健一	低炭素都市交通システムの構築に関する日中比較研究 —京都市と杭州市のレンタル自転車事業を事例	2014年9月	環境経済・政策学会 2014年大会	周 靈怡
9	仲上 健一 小幡 範雄	沿岸海域の生態系サービスの経済価値の決定要因：ヘドニック手法の抱える課題について	2014年9月	環境科学会 2014年大会	太田貴大, 上原拓郎, 高尾克樹, 吉岡泰亮, 陳曉晨

10	仲上 健一 小幡 範雄	Development of a methodology for sustainable coastal zone management.	2014年11月	RCS Session in 12th Asia Pacific Conference - Ethics, Human Security and Sustainability: Knowledge and Practices in Asia Pacific, Beppu, Japan, 2014	Jia Niu, Katsuki Takao, Takahiro Ota, Takuro Uehara, Taisuke Yoshioka, Xiaochen Chen.
11	仲上 健一 銭 学鵬 中島 淳	Achieve sustainable development from the perspective of efficient water utilization and management: A case study of Chongming Island, China.	2014年11月	RCS Session in 12th Asia Pacific Conference - Ethics, Human Security and Sustainability: Knowledge and Practices in Asia Pacific, Beppu, Japan, 2014	Xiaochen Chen, Ken' ichi Nakagami, Jia Niu, Jianhua Li, Ji Han.
12	仲上 健一	Comments "An Economic Analysis of Functionality Test of Used Equipment A.P." Kazuka Nambu	2014年11月	The 13th International Conference of the JEPA	
13	仲上 健一	生態系サービスの経済評価	2014年11月	環境戦略研究 S13 「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発」平成 26 年度公開成果発表会	
14	仲上 健一 小幡 範雄	海洋基本法を基本とした沿岸域管理の政策情報学的考察	2014年11月	政策情報学会第10回研究大会	吉岡 泰亮、高尾 克樹、上原 拓郎、太田 貴大、陳 曉晨、牛 佳
15	仲上 健一	統合を経た適応型水管理への転換-余呉湖と周辺地域の未来設計を手がかりに-	2014年11月	政策情報学会第10回研究大会	加藤久明
16	仲上 健一	An Operational Framework for Sustainability Assessment of A Regional Scale ICZM: An Application of Sato-umi	2014年12月	An Operational Framework for Sustainability Assessment of A Regional Scale ICZM: An Application of Sato-umi	Takuro Uehara, Jia Niu, Xiaochen Chen, Takahiro Ota,
17	仲上 健一	公と私のサイクルー 民主的 社会化について考える	2014年12月	国際公共経済学会第29回研究会大会	植田和弘、松原聡、野村宗訓
18	仲上 健一	関西広域経済圏のインフラ開発	2014年12月	国際公共経済学会総括・パネルディスカッションIV	上村敏之、加藤恵正、野村宗訓、牧野松代
19	仲上 健一	Sustainable Water Resources Management of the Nile River, Egypt	2015年2月	Research Meeting of the JSPS "Water Cooperation Project" "Development of Integrated Indices on Water Management Performance for Wise Irrigation"	王斯蒙
20	仲上 健一	エジプト・ナイル川の持続的水資源計画	2015年2月	2014年度第1回WPS研究会	仲上健一
21	周 瑋生	東アジア循環経済圏の構築を目指してー日中韓循環経済モデル基地のトップデザイン	2014年7月	第4回プログレスレポート会議	
22	周 瑋生	「政策工学」の創成とエネルギー環境分野における適用	2014年8月	大連理工大学エネルギーと機械工学学院特別講演会	
23	周 瑋生	日本の公害経験と環境政策の歴史	2014年8月	JICA「草の根技術協力事業」講義	
24	周 瑋生	中国地方都市における経済発と満足度の関連関係に関する研究	2014年9月	環境経済・政策学会年度大会	林祥偉
25	周 瑋生	市民の低炭素交通行動に関する日中比較	2014年9月	環境経済・政策学会年度大会	周靈い
26	周 瑋生	東アジア低炭素共同体構想とその具体化	2014年11月	京都国際環境シンポジウム	
27	周 瑋生	東アジア循環経済圏構築と日中韓循環経済モデル基地	2014年11月	北京交通大学名師講座	
28	周 瑋生	東アジア低炭素共同体の実現を目指して	2014年11月	北京大学特別講演会	
29	周 瑋生	政策工学とその学問体系	2014年11月	清華大学特別講演会	



4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	プログレスレポート会議	BKC キャンパス	2014年7月	20名	なし
2	RCS フォーラム「日中韓の戦略的互恵関係とサステイナビリティ」	衣笠キャンパス	2014年10月	80名	立命館孔子学院 立命館大学コリア研究センター
3	「水とグリーンビル研究会」キックオフシンポジウム	BKC キャンパス	2015年2月	58名	立命館グローバル・イノベーション研究機構 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1				

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1					

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	中島 淳	簡易なセラミック膜を用いたハイブリッド型水浄化システムの開発と途上国への適用	基盤研究(C)	2012年4月	2015年3月	代表
2	近本 智行	ヒューマンファクターを組み込んだ空調システム・制御システムの構築	基盤研究(B)	2014年4月	2016年3月	代表
3	小幡 範雄	有害性災害廃棄物処理と地域復興の行財政研究	基盤研究(B)	2014年4月	2017年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	近本 智行	水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点形成	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	2014年4月	2018年3月	代表
2	仲上 健一	持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理方法の開発	環境省環境研究総合推進費	2014年4月	2018年3月	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1								

以上